

「これからの教育センターは・・・」

～発信し、出かけるセンターを目指して～

所長 喜納 眞正

朝の訪れとともに、誰彼となくほうきを握り、水道のホースを引っ張り、剪定ばさみを手にし、草刈り機のエンジンの音を響かせ、やがて120名余の所員、研修員がそれぞれの持ち場で爽やかな汗を流している。実に圧巻である。教育センターの一日はこのような環境整備（来所者への心配り）から始まる。平成14・15・16年の3年間お世話になって以来5年ぶりのセンター勤務であるが、朝のこの風物詩は心打たれるものがあり、このような素晴らしい取組を定着させた先輩諸氏にただただ感服する日々である。先日、これまでのセンターの環境整備への取組をまとめた冊子「相思樹の木陰から」に触れ、花と緑の豊かな環境を築いてこられた方々の本県教育に対する思いを汲み、具現化していくことがこれからの教育センターに課せられた使命だと痛感し身の引き締まる思いがした。

さて、昭和35年科学教育センターとしてスタートし、幾多の変遷を経ながら歴史を刻んできた本総合教育センターが本県教育に果たした役割は大きなものがあります。今日的課題の解決に向けた調査研究、教職員の専門性や資質向上に向けた研修、児童生徒の実習、適応指導教室「てるしの」、移動教育センター、体験学習教室などなど学校現場や教育機関と連携した取組でその時々に応じた果たすべく役割を担ってきました。

時代の流れの中で教育を取り巻く環境が大きく変わり、教育改革の波が大きなうねりとなって速いスピードで押し寄せてくる今日、最新の優れた

施設設備と多くの人材を擁する本センターも脱皮する時期に来ているように思えます。そのような中で、より具体化された目に見える形で本県教育の充実に役立ちたいとの全所員の熱い思いが結集しています。そこで今年度は本県の重要教育課題である「確かな学力の定着（学力向上）」を所員全体の共通ベクトルとして取り組んでいるところであります。

具体的には長期研修、夏期講座（短期研修）、経年研修、法定研修などのすべての研修は教師の「授業力の向上」「教師力の向上」を目的とした内容で実施しており、調査研究においても学力向上に焦点化し、北中城村教育委員会との連携のもと学力向上に向けた調査研究の検証の場として協力をいただいているところであります。また、すべての指導主事、研究主事が各学校や教育機関に赴き出前講座や研究授業、校内研修などに積極的に関わり「発信し、出かけるセンター」を目指しているところであります。さらにIT教育センターに蓄積されている約4万点の教育用コンテンツが学校現場でより活用されるよう、その体制づくり（ID、パスワードの解除など）を進めているところであります。これらの一つ一つの取組が線となり、面となり、立体となって本県教育の一翼を担う教育センターを目指して頑張っていく所存であります。今後とも学校現場や教育機関を支援する教育センターを大いに気軽に活用していただくことを期待しております。

*****もくじ*****

- | | |
|---|-----|
| ● 巻頭言 「これからの教育センターは・・・」～発信し、出かけるセンターを目指して～ | —1— |
| ● 平成21年度調査研究事業「存在感のあるセンターを目指して」 | —2— |
| ● 沖縄グローバルエデュケーションネットワークシステム、「ICTを活用した小学校外国語活動講座」実施中 | —3— |
| ● 進路指導実践研修、教育相談 | —4— |
| ● 平成21年度前期・離島長期研修成果報告会、「理科支援員等配置事業」いよいよ本格的スタート | —5— |
| ● 平成20年度障害児教育相談事業、特別支援教育推進のための学校支援、個別の教育支援計画手引書発行 | —6— |
| ● 先端技術装置・生徒実習 | —7— |
| ● 研修を終えて、平成22年度長期研修員募集 | —8— |

平成21年度調査研究事業 「存在感のあるセンターを目指して」

本教育センターには、本県の喫緊の教育課題である「児童生徒の学力の向上」について、実践的な研究を行うことが求められています。

これに応えるべく今年度は、研究組織体制を見直し、これまでのプロジェクト委員会を学力向上対策委員会とし、統一テーマを「確かな学力を育成する取組」とすることで、センター全体の研究のベクトルをそろえました。

その取り組みの一つとして、本教育センターと北中城村教育委員会及び村内の学校が連携し、実践的な研究及び検証を行うことで本県の学力向上に資することを目指しております。

そのために、5月初旬の教育センターと北中城村教育委員会との協議を踏まえ、双方にとってより良い連携のあり方を互いに模索し、調査研究事業においては授業力向上や児童生徒の家庭学習の定着をはかるため、下記の具体的な取り組みを進めているところです。

- 教師の授業力向上のために「出前講座」や「出前授業」の実施
- 「確かな学力」育成に向けての「授業モデル」の提供など実践的な研究
- 授業研究会への支援
- 児童生徒の家庭学習の定着・充実に係る研究
- 「家庭や地域と学校が連携して行う学力向上取組モデル」の研究

本センターからのアプローチや学校からの要望により、夏季休業中には、10の講座や模擬授業、講演が北中城村教育委員会及び村内の小中学校で実施することが出来ました。また、学力向上対策



北中城村 家庭・地域教育部会における講義

(資料提供・琉球新報7/19付け)

委員会の取組の一環として進めた秋田県派遣教諭の上原正人氏による講演会には県内各地の多くの教育関係者から参加希望があり、8月5日の講演会には212名の参加がありました。

これまでの長年の取組により本教育センターには、教育センターの有する教科領域の専門性を活かした教師の授業力向上や児童生徒の学力向上に繋がる多くの有用な教育用コンテンツが蓄積されています。今後も学校現場のニーズに対応したコンテンツの提供方法を工夫研究することで、教育センターの財産である魅力あるコンテンツの活用をうながし教師に求められる「授業力の向上」や児童生徒の「学力の向上」を目指して行きます。

先に述べました研究組織体制の見直し、教育委員会及び学校との連携、出前講座などを通じた学校への直接的な支援のあり方、教育コンテンツの提供の改善などの取組は、今年度から新たに始めたものであります。これらの取組を進めることで、これまで以上に存在感のある県立総合教育センターとして、学校への支援を行ってまいります。



北中城小学校における出前講座



北中城村教育委員会における出前講座

● 沖縄グローバル・エデュケーション・ネットワークシステム ●

—教育情報共有システム検索が簡単になりました—

沖縄グローバル・エデュケーション・ネットワークシステムの導入により県立総合教育センターの教育情報共有システムをバージョンアップしました。蓄積された約4万点以上の教育用コンテンツの中から、学習者が必要な教材を効率よく検索し、活用するためのシステムになりました。「全文検索」、「絞込検索」や「お勧めコンテンツ紹介」等の機能を備え、よりよい学習教材の提供が可能となりました。また、登録者の許諾を得られたコンテンツについてはID、パスワードがなくても利用できるようになりました。

○主な新機能

全文検索	コンテンツ内の全文を全て検索し、必要なファイルを抽出します。
絞込検索	校種、教科等で必要なコンテンツを絞り込みます。
お勧めコンテンツ紹介	同一コンテンツの利用者が他に活用しているコンテンツを推奨します。
一括ダウンロード	検索したコンテンツを複数まとめてダウンロードできます。

○新教育情報共有システムのホームページ (https://gen1.open.ed.jp/cms/modules/itess_system/)



「ICTを活用した小学校外国語活動講座」実施中

平成21年5月21日(木)、IT教育センターでは、沖縄グローバル・エデュケーション・ネットワークシステムのオープニングセレモニーに引き続き、「ICTを活用した小学校外国語活動講座」をスタートしました。

本講座は新学習指導要領により平成23年から実施される小学校外国語活動に向け、全県の小学校教諭約500名を対象にICTを活用して隔週で年間20回行うものです。授業実践にすぐに役立つ担当教諭の英語力、教材作成能力、及び指導力の向上を図ります。この講座は沖縄グローバル・エデュケーション・ネットワークシステム上で、ライブもしくはオン・デマンドで受講します。



IT教育センター 3Fコンピュータ・ラボ室

平成21年度受講者数

地区	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山
受講人数	63	162	97	89	34	40

進路指導実践研修

本研修は、生徒一人一人の夢を育み、人間としての在り方生き方、主体的な進路の選択と決定を援助し自己実現できる生徒を支援できる教員の育成を図ること、生徒の発達段階を踏まえた進路指導の組織的・系統的な在り方を企画・立案し、実践する指導力の養成を図ること、勤務校の進路指導に関する課題を見つけ、改善プランを作成し改善に取り組む実践力のある教員の養成を図ることを目的とし実施されました。

研修の内容としては、本県の進路指導の課題である「進路指導体制の強化」「入学時から個に応じた計画的・継続的な進路指導の促進」に対応するため、進路指導の在り方に関する講義や進路データの分析と活用法などの研究に取り組みました。



各校での情報交換会の様子



実践発表者による事例研究会

この研修の成果として、研修員から以下のことが報告されました。

- 生徒が、「何のために進学するか」を自ら考え見出すことができるように、様々なプログラムを与え、自主的・計画的・継続的に学習に取り組ませる。
- 教師は課題に取り組み、指導力・専門的知識の向上に努め、生徒一人一人を大切にし、生徒が生き生きと学ぶ喜びを知り、学問に対する興味・関心を深められる授業を行う。
- 学校は社会の変化やニーズに対応し、進路希望を実現できるよう、組織的で計画的な進学指導を推進する。

この研修の成果が、学校での進学指導に役立てられることを期待しています。

教育相談

＝人間関係づくりサポート研修講師派遣の取り組み＝

これからの教育相談のあり方として、心因性や、学校不適応を示す生徒を対象にした問題解決的な個別の教育相談の充実を図ると同時に、学校全体や学級集団を対象にし、問題発生の予防及び集団への適応や、自己肯定感を高め自己成長を援助する、より積極的な「予防的・開発的教育相談」が求められます。

教育相談研究室では、今年度より「人間関係づくりサポート研修講師派遣」の取り組みを開始しました。これは、人間関係が希薄化し、社会的スキルなどが不足している現代の児童生徒に対し、ホームルームなどで簡単にできる「構成的グループエンカウンター」を実施できるよう教職員研修を行うものです。また、教職員に実際に入ってもらい、クラスや学年単位で生徒を対象にエクササイズを行い、自己肯定感を高め教師と生徒、生徒

同士の人間関係を円滑にすることによって学校不適応を予防し、学級での人間関係作りをサポートすることをねらいとしています。今後は、生徒の人間関係作りのみならず、教職員同士の横の連携作りを促進し、お互いが助け合い、ゆとりを持って教育活動に取り組めるよう支援を行っていきます。

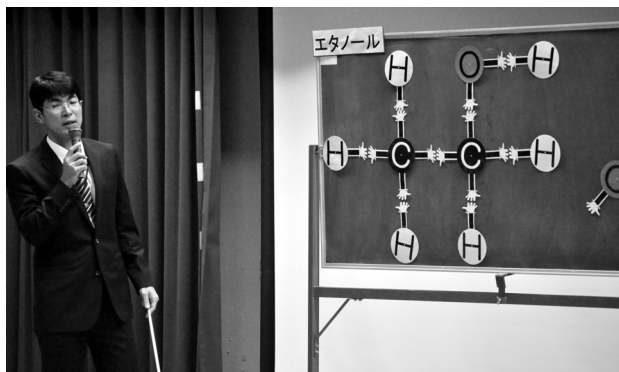


エクササイズの様子

平成21年度前期・離島長期研修成果報告会

去る9月9日～11日の3日間の日程で「前期・離島長期研修成果報告会」が開催されました。今年度は、「教師力の向上」を掲げて研修をすすめてもらい、報告会では、前期研修32名、離島長期研修4名の研修員が約半年間にわたる研修成果を報告しました。

各教科・領域の教育実践の中から様々な教育課題を設定し、その解決を図るため、研究テーマについて「研修計画検討会」や「中間検討会」などでの議論を重ねました。成果報告は多くの情報を集め、先行研究などを深く学習し、これまでの教職経験に裏打ちされた強い熱意と粘り強い取組で、日々研究に努めてきたことを感じさせる内容でした。



自作教材を利用した実演



P C を利用した報告

報告の方法も工夫がなされ、Cue の技法を取り入れたり、実演による教材や教具の紹介など、プレゼンテーション能力の向上を感じさせてくれました。

今後は、校内研修や地域の教科・領域の研修会等で報告するなど、研修成果を多くの皆さんと共有し、これからの学校現場での授業や教育活動を通して「子ども達の心をとらえ」、「わかる授業」を実践し、今後の学校教育の更なる発展・充実に資する糧となることを期待しております。

「理科支援員等配置事業」いよいよ本格的スタート！

文部科学省は「次代を担う人材への理科教育」を充実させるために、平成19年度より独立行政法人科学技術機構（JST）を通じ、「理科支援員等配置事業」を実施しています。この事業は、研究者・技術者、大学（院）生等の有用な外部人材を、理科支援員や特別講師として小学校5・6年生の理科の授業に配置し、活用することで、理科の授業における観察・実験活動の充実及び教員の資質向上を図ることを目的としています。

沖縄県教育委員会は、平成19年度より、この事業についてJSTと委託契約を結び、更に県が各市町村と契約（再委託）する形態で展開しています。年々希望する市町村が増加し、今年度は14市町村61校に理科支援員を配置しています。

本事業への支援として、運営に大きく携わる理科支援員等配置コーディネーター（2名）が理科研習班、初等理科研究室に配置されました。本セ



理科支援員対象研修会（9月17日）

ンターで実施された理科支援員対象の研修会では実験の基礎などの実習を行いました。今後は、教材・教具等の情報提供を行うと共に、理科研習班主事と理科支援員等コーディネーターが支援員配置校へ直接訪問し、指導助言等の支援を行います。

平成20年度 障害児教育相談事業

— 来所教育相談 —

障害児教育相談事業（以下、「来所教育相談」）には、相談者が予約後に来所して相談する「来所相談」と電話で相談する「電話相談」があります。乳幼児から高校生までの保護者や学校・保育所の担任およびその関係者を対象に、養育・教育・医療等の相談に、特別支援教育班の所員または嘱託医が対応しています。嘱託医は、小児科・内科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、小児神経科の5科目5名です。

県立総合教育センター特別支援教育班において、障害児来所教育相談が本格的に開始されたのは、平成2年度からです。図1は、この事業における推移を示しています。

☆ 来所教育相談の年度別件数

平成19年度まで大幅に増加し続けた本センターの障害児来所教育相談件数は、平成20年度は、やや落ち着いています。

その背景に平成16年度から県教育委員会が取り組んだ特別支援教育コーディネーター養成の効果があると推察されます。特別支援教育を必要とす

る児童生徒の対応について、養成されたコーディネーターが自校の課題として校内支援の体制作りをすすめた結果です。

また、本センター特別支援教育班による教育相談が常に学校における特別支援教育の推進を促す方向で行われているため、相談を依頼する学校が一定の取り組みを行った後にセンターに繋ぐと言う流れが定着してきたためだとも考えられます。今後も本センターにおける相談対応の方針等について、各学校及び教育事務所、教育委員会の関係機関等に向けてより一層の周知を図っていく必要性があります。

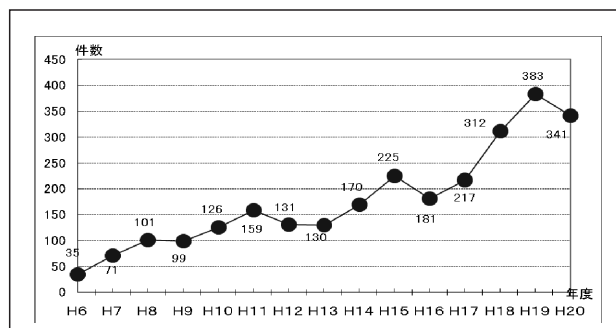


図1 障害児来所教育相談件数の推移

特別支援教育推進のための "学校支援"

特別支援教育班では、県内の特別支援教育の推進のための学校支援に取り組んでいます。

平成20年度の支援として小中学校を対象とした教育委員会主催の研修は13回、高等学校での研修は、19回。計32回の学校支援を行いました。

小中学校においては、市町村単位での研修を行い発達障害の特性や支援方法をはじめ、個別的教育支援計画、個別の指導計画の作成と活用等に向けた取り組み等の研修を行いました。また、高等学校においては、特別支援教育に関する基本的な内容を中心に、発達障害の生徒の二次障害に関する対応等の研修を行い、各学校における支援体制の強化等のサポートを行いました。

研修後、各学校とも子ども一人一人のニーズに応じた対応や支援をすすめる、子どもの自立をめざした取り組みがみられます。



校内研修の様子

平成21年度 個別的教育支援 計画手引書発行

「個別的教育支援計画」
活用の手引き

平成21年3月
沖縄県教育委員会

平成21年3月、特別支援教育の推進において重要なツールとなる「個別的教育支援計画」の手引書が沖縄県教育委員会より発行されました。

「個別的教育支援計画」は、幼児・児童・生徒の個々のニーズを把握し、障害のある子どもの自立社会参加に向けた主体的な取り組みを支援する目的で作成されます。さらに、校内委員会における支援体制の整備や外部機関との連携・協力を得た支援を実施するためにも各学校とも策定が必要となります。

この冊子は、「個別的教育支援計画」の策定と活用のポイントを確認し、特別な支援を必要とする子の支援に活かす目的で作成されました。沖縄県総合教育センターホームページにて掲載しています。

<http://www.edun-c.ed.jp/tokusyu/tindex.htm>

先端技術装置・生徒実習

産業教育班

総合教育センターに設置されている産業技術棟（産業技術教育センター）では、先端技術装置を活用した生徒実習（平成20年度 6,329名）と専門高校の教員を対象とした研修を実施しています。以下に、これらの実習や研修等で使用している先端技術装置を紹介します。

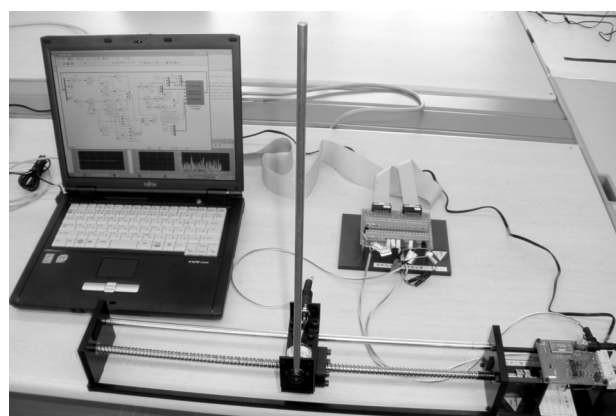
○倒立振り子自動制御実習装置

コンピュータで装置を操作するコンピュータ制御技術は、手動制御、自動制御の2種類に分けられます。その一つの自動制御とは、「制御の目的を達成するために人の手を借りずに動作する制御」のことです。本実習では、自動制御の仕組みを知るために、「倒立振り子（とうりつしんし）」の自動制御について学習します。

みなさんは、こどもの頃、手のひらの上にほうき（振り子）を立ててバランスを取る遊びをしたことがありませんか。倒立振り子とは、手のひらの上に棒を鉛直に立てる動作を機械に行わせるものです。

倒立振り子の制御目的は、A Cサーボモータで台車に力を印加して左右に駆動させることで、振り子の不安定な状態を安定化して振り子を直立させるこ

とです。実際には、耐震システムなどに利用されています。この制御目的を実現させるためには、振り子の数学モデル表現を求め、運動方程式に変換することです。求めた値をコンピュータに入力して制御目的を達成します。



直動（振り上げ）型倒立振り子の制御実習装置

○精密加工機システム（平成20年度導入の新システム）

平成20年度に導入された精密加工機システム（5軸マシニングセンタ、機械動作シミュレーションソフト）は、金型製作の学習を目的としています。金型とは金属によってある形状をつくり、その形状を材料に転写することにより同じ製品を大量に成形するための道具で、その加工技術は日本が世界に誇る技術の一つです。

近年、複雑で高精度の金型加工への要求に対応するための加工法として5軸加工が注目されています。

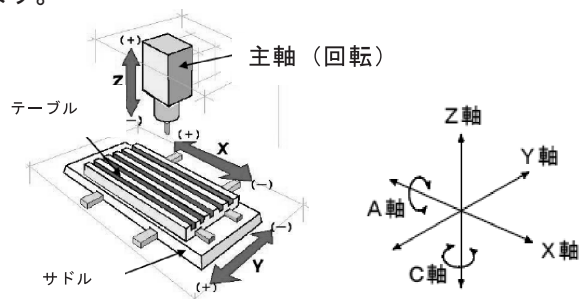


図1 3軸マシニングセンタ 図2 5軸の制御軸

5軸では従来、マシニングセンタの「縦・横・高低（X・Y・Z）」の3つの軸による切削座標指定以外（図1）に、切削物を固定するテーブルを動かす事で「傾斜軸（A軸）」と「回転軸（C軸）」の指定が可能です。これにより非常に複雑かつ精

緻な加工が可能となりました。（図2）

本年度は、メーカーによる導入講習が以下の内容で計画されています。

1. 加工機本体の操作・メンテナンス
2. CAD/CAMによるNCデータ作成
3. シミュレーションによるデータ検証
4. 5面割り出し加工（モデル：サイコロ）
5. 同時5軸加工

今回導入された機械を通して生徒実習では、最先端技術に直に触れることで、ものづくりへの興味・関心を高め、更なる学習意欲の向上が見込まれます。職員研修においては、同時5軸による立体加工を計画しており、指導力・技術力の向上はもとより実習、課題研究等での活用が期待されます。



5軸マシニングセンタ FANUC ROB0-DRILL

研修を終えて



特別支援教育班 肢体不自由・病弱教育
森川特別支援学校

教諭 城間 邦江

自分の課題について研修出来るという有り難い経験をさせて頂き、感謝の気持ちで一杯です。担当児童、保護者をはじめ、本当に多くの方々の

協力があっての研修だと強く感じました。テーマに関する研修もそうですが、研修員同士での情報交換や、班長をはじめ主事の先生方の温かいサポートを受けながらの研修生活はとても充実し、貴重なものとなりました。この半年で培ったものを今後は、子ども達のために役立てていきたいと思います。



教育経営研修班 教育相談
南城市立馬天小学校

教諭 生 盛 斉

研修当初は、半年間は、長いと感じましたが、いざ始まってみると、あっという間の半年間だった、というのが今の率直な気持ちです。それも教育センターでの研修が非常に充実していたから

だと思います。研修を進めていく中で、主事の先生方から多くのご指導をいただきました。時には、厳しいご指摘もありましたが、そのおかげで、研修員それぞれが実り多い研修になったと思います。これからは、ここで学んだことの研究をさらに深め、学校現場の先生達や子どもたちへ還元していくことが使命だと思い、これからの教員生活に励んでいきます。また、校種の違う先生方と色々話ができたことも非常に有意義でした。このような機会を与えていただき、本当にありがとうございました。



理科研修班 生物研究室
那覇国際高等学校

教諭 青 山 あさひ

研修生活で最も印象的だったのは毎朝の教材園の清掃でした。日常的に自然に触れる中で、身近なところにも多くの教材があることに気づか

されました。理科研修班の必修である、2泊3日の野外研修では沖縄の自然について学ぶと同時に、理科教員は体力が重要だということを痛感しました。また、研究授業や報告書・プレゼンテーションの作成では多くの主事の助言や研修員の励ましを頂きながら取り組むことができました。短い間でしたが、充実した楽しい研修を送れたことに感謝します。



教科研修班 へき地教育
宜野座村立松田小学校

教諭 城間 克也

総合教育センターでの研修は、自分を大きく成長させて頂いた半年間でした。報告書では、各主事の先生方からたくさんの助言や励ましを頂

き、研修員同士共有することができました。もう一つは、「人間性」を学びました。毎朝の清掃活動や三線クラブ、昼休みのジョギング等を通してたくさんの人から優しさや温かさを感じることができました。喜納所長をはじめ、各班の主事の先生方、そして同じ釜の飯を食った研修員の仲間達との出会いは人財バンクとして、これからも大切にしていきたいと思っています。

平成22年度長期研修員募集

研修目的

- (1) 本県の教育課題の解決・改善及び教科・領域等での指導方法の工夫・改善を図るための理論研究及び実践研究を行い、その成果を報告書等にまとめ学校現場へ還元する。
- (2) 長期研修講座やIT研修講座等をとおして教職員としての資質の向上を図り、学校現場における課題解決に積極的に対応できる人材の育成を目指し、学校教育の活性化と発展に資する。

研修期間

前期	平成22年4月1日(木)～ 平成22年9月30日(木)
後期	平成22年10月1日(金)～ 平成23年3月31日(木)
1年	平成22年4月1日(木)～ 平成23年3月31日(木)

申込み締切

平成21年11月27日(金)

各学校へ送付した募集要項若しくは、沖縄県立総合教育センターHPをご覧ください。

<http://www.edu-c.open.ed.jp/>